

グループホーム馬借 ユニット

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		現状通り取り組んでいきたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		現状通り取り組んでいきたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		掲示するだけでなく文章や何か行事の際などにも言葉で伝え理解を深めたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		現状通り取り組んでいきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		保育園だけでなく自治会や地域の行事にも積極的に参加していきたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	併設のデイケアや介護支援センターと共同で、イベントを開催し、その時に介護相談を行っている。		地域に役立てることは何か、利用者への支援と共に話し合いの場を持ち実行できるようにしてゆきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を活かしたより良い活動が行えるよう、話し合い実行している。		引き続き、よりよいグループホームを目指し、評価を活かして行きたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者の現状報告を行い問題点などについて意見交換し、サービス向上に努めている。		引き続き、運営推進会議で辞令を取り上げ、助言を頂き、サービス向上に活かして行きたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	民生委員の方に町内の年会行事を頂いているので、参加できる行事があれば参加していきたいと伝えている。小倉祇園では夜間ホームの前を通過頂き、入居者も喜ばれていた。もっと積極的に交流を深めていくように話合っていく。		市町村担当者とも話し合いの場や交流の機会を持ち、サービスの質の向上に取り組みたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見や権利擁護については、研修会に参加し、職員全員が資料を回覧している。入居者家族には必要と思われる場合は、助言している。保護の方の場合は、ケースワーカーや、関係者に相談している。現在の入居者のなかには実際に利用している方もおられる。		資料の回覧だけでなく、今後は研修に行き、勉強会というかたちをとり、職員全員で勉強していきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し、資料を全職員が回覧し、勉強している。ユニットミーティングと全体ミーティングで入居者の状態について共通理解を徹底している。		同上

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約、解約時は必ず文章と口頭で納得して頂けるよう説明を行なっている。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情箱を設置し、言いづらいことは苦情箱に入れてもらうようにしている。また、話をしやすい環境に心がけているためか、直接言われることもある。その時は、話を聞き迅速な対応を心がけている。運営推進会議で入居者代表が意見、苦情、不満などを表せる機会を設けている。</p>		<p>引き続き、意見や不満、苦情が言いやすい雰囲気や崩さず、入居者の表情や受け答えなどの反応を見落とさず、何か言いたいような雰囲気であれば、声かけし、ゆっくりと話を聞くようにする。また、迅速な対応を心がけていく。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「グループホームだより」を発行し暮らしぶりなど報告している。日々の健康状態については来訪時に伝えている。また面会が少ない家族には請求書送付時に健康状態を伝えているが健康状態で変化がある時は電話にて伝え、現在の状態を常に把握してもらっている。職員移動については来訪時に伝えている。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関先に苦情・意見箱を設置すると共に、相談窓口を設けているので、相談員が家族からの不満、苦情等の窓口となり、それらを運営に反映させるよう心掛けている。問題があった場合運営推進委員会などで報告するようにしている。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>責任者は運営に関する職員の意見や提案をきき、その都度管理者に伝え、話し合いを設け、反映させている。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>色々な状況に応じて勤務の調整を行い柔軟な対応を心掛けている。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者と職員の関係を重視した、職員配置を行っており、移動や離職は最小限で年々減少している。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>

グループホーム馬借 ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	<p>人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の募集、採用にあたっては性別、年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。事業所で働く職員についてもその能力を發揮して生き生きとして勤務し社会参加や自己実現の権利が十分に補償されるよう配慮している。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
20	<p>人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>研修に参加しているが、職員全体に伝わっていないので、勉強会のとき等全体的に伝わるようにする。</p>	<p>人権教育、啓発活動に積極的に取り組んでいきたい。</p>
21	<p>職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>さまざまな研修に参加し、技術知識の向上に努めている。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に参加し、同業者と交流の機会を持ちネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じてサービスの質を向上させていく取り組みを行なっている。</p>	<p>今年からグループホーム協議会に参加できるようになったので、同業者との交流を図り、職員に伝えて行き、サービスの向上ができるようにしていきたい。</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員同士での交流の場を作りストレス軽減など行なっている。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>入居者に職員一人ひとり担当をつけることで、責任感をもたせ、達成の喜びを味あわせる。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>

グループホーム馬借 ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	---------------------------------	-----	----------------------------------

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談、面接に見えた時に問題を良く聞き、解決できる事を伝え、不安を取り除き、安心して生活できることを伝える。</p>		<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前の相談、面接時問題を良く聞き、問題に対しての解決策を話し合い、安心して、生活が出来る事を伝える。入居後も問題があったらすぐ相談してもらい問題解決の話し合いが出来る事も伝えておく。</p>		<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族との話し合いの上最もニーズのある支援、サービスを考慮し対応している。</p>		<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族等と相談し時間など工夫している。</p>		<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>

グループホーム馬借 ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の得意とされる事などを職員に教えて頂けるような場面作りを行い、よい関係作りに努めている。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
30	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>行事やレクリエーション等家族と共に楽しく過ごす時間を作り良い関係作りに努めている。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
31	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>本人や家族との会話を重ね生活歴を理解し、さらに良い関係を保てるように支援している。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
32	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの人や場所が遠くて行くことのできない方が多い為、地図を貼ったり、言葉で忘れないよう声かけするなどしている。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
33	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者の個性、性格など把握し一人ひとりが心地よく生活し、よい関係であるよう支援している。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
34	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>サービスが終了し在宅復帰されても、再度居室に開きがあれば再入居できる事を説明し、空きがなければ其の時に応じて相談を受け本人、家族が満足されるサービスが継続できるように支援している。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望する生活の実現に向けてその内容の理解に努め、意思に添えるよう心掛けている。		現状通り取り組んで行きたい。
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の会話の中から生活歴などを理解しサービス内容の把握に努めている。		現状通り取り組んで行きたい。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	規則正しくかつその人らしく生活できるよう心身の状態を理解し日々の変化など現状把握に努めている。		現状通り取り組んで行きたい。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族より話を聞き、現状の問題点、意見を聞き把握する、スタッフより現在の身体状況、生活状況に関する話を聞き生活援助プランに記入。アセスメントを聞き問題点を探し、スタッフ間で話し合い介護計画を作成している。		現状通り取り組んで行きたい。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の急変時、身体状況、精神状況に著しい変化があった場合で入院に至った場合など家族に連絡しプランの変更を行なう。退院前にスタッフと話し合い、ニーズを探し現状に即した計画を作成する。		現状通り取り組んで行きたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別援助プランを作成してもらい、今の現状を把握し、スタッフの意見を聞き作成している。		日々の様子、ケアの状態は把握できるが、気づきや工夫など、個別記録にかけてない事があるので、情報を共有しながら実践や介護計画に活かしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医学的管理が必要な入居者には、併設の医院で治療したり、特別な機能訓練が必要な人については併設のデイケアにて、理学療法士によるリハビリをうけることができる。その他、本人や家族の要望には出来るだけこたえることができるように努めている。		現状通り取り組んでいきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	子どもが好きな入居者が多いので、近隣の保育園と交流し、子どもとのふれあいの時間をつくっている。		本人の必要性を考え、必要に応じて、地域資源を活用し、今まで以上に開かれたグループホームを目指していきたい。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在他のサービスを利用している入居者はいないが、併設のデイケアへ、理学療法士のリハビリを受けに行っている入居者はいる。また、入居者の事に関して、併設の介護支援センターのケアマネジャーに相談し、助言してもらうこともある。		本人の必要に応じて対応していきたい。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議にて包括支援センターの方との意見交換や助言を頂き、それをプランに反映させている。		現状通り取り組んでいきたい。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日々の状態を把握し、状態に変化があれば本人・家族に連絡し、係り付け医受診する。その後状態を把握した上で家族と話し合い、病状にあった病院を紹介してもらい受診するようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて協力医療機関の定期的に受診しその都度、指導助言を受け認知症の悪化防止努めている。		現状通り取り組んでいきたい。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関の看護職員と日々利用者の現状など話相談など行なっている。		現状通り取り組んでいきたい。
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時病院関係者と情報交換を行い、早期退院につとめている。		現状通り取り組んでいきたい。
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族、医師と話し合い、本人家族の医師と		現状通り取り組んでいきたい。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人、家族、医師と話し合い、本人家族の意思を尊重した支援を行なう方針の共有をしている。		現状通り取り組んでいきたい。
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ケア関係者と情報交換を行い、住み替え時のダメージを防ぐようにしている。言葉に気を配り、プライバシーを守るように心掛けている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	言葉に気を配りプライバシーを守るよう心掛けている。	つい感情的になり強い口調になったり、馴れ馴れしい対応になってしまうことに注意してゆきたい。
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	本人の希望や意思を導き出せるような言葉かけをし自己決定して頂けるよう努めている。	現状通り取り組んで行きたい。
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	その日の職員の人数で多少異なるが、「今日はなにがしたいですか?」と尋ね、散歩やレクリエーションなど、入居者一人ひとりのペースにあった生活で、ゆっくり楽しく過ごしていただけるよう、心を開いた会話と支援をしている。	一人一人のペースで生活できるよう、良い案を見つけだせるよう話し合いを重ねたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	家族より事前に料金を預かり、理容、美容院へ行ける様支援している。	現状通り取り組んで行きたい。
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	盛り付けやテーブル拭き、ゴマすりなど一緒に準備する。場面はあるが片付けはスタッフが行なう事が多い。	片付け場面でも一緒に出来るようにしてゆきたい。
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	好きな飲み物やおやつを、できる限り楽しめるようにしている。	現状通り取り組んで行きたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを理解し気持ち良い排泄の支援に努めている。		現状通り取り組んでいきたい。
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は火曜と金曜に決めており、予備日として土曜日があり、予備日として土曜日があり、必要に応じてシャワー浴など行っている。時間はハビリなどの都合で決めてしまう場合もある。		できる限り本人の希望に添えるようにしてゆきたい。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	気持ち良い休息、眠りの為、状況に応じた室温調整や寝具の清潔に努め日々の適度な運動に心掛けている。		現状通り取り組んでいきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の趣味など理解し生き生きと生活できるような場面作り心掛けている。		もう少し役割やその人の力を活かせるような場合を増やす必要がある。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	散歩にいった時の買い物や、月1回の買い物ツアーに参加していただき、金銭感覚がなくならないように支援している。また、家族からおこづかいをお預かりする時は、本人に受領書にサインしていただき、自分のお金ということを認識していただいている。		現状通り取り組んでいきたい。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物など天候の良い日は外出支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	苑外レクリエーションを行い家族や他の入居者と共に出かける機会を支援している。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状・手紙など送ってきたら、返事を書ける入居者の方には、返事を自分で書いて、遅れるように支援する。		現状通り取り組んでいきたい。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間を問わずいつでも訪問出来るように対応している。		現状通り取り組んでいきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関して、身体拘束廃止に向けたカンファレンスを開いたり、研修会の資料を回覧したりしているが、入居者の安全性と、安全を守る為に代替がないことを考えると身体拘束が必要である。現時点では身体拘束はやむを得ない状態である。		引き続き、身体拘束廃止に向けたカンファレンスを定期的 に開催し、最終的には身体拘束をゼロにしていきたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中鍵をかけていないが門のみ簡単に外せる鍵をつけている。		現状通り取り組んでいきたい。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者の所在を確認し安全に気配りしている。		現状通り取り組んでいきたい。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態にあった、安全な環境作りに努めている。		現状通り取り組んでいきたい。
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメントの勉強会など行い事故防止に努めている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	火災訓練など定期的に行なっているが応急手当や急変などについての初期対応の定期的な訓練はない。		火災訓練時に急変時の対応や応急処置について訓練をおこなっていきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回災害訓練を実施し、昼夜を問わず入居者が避難できるように訓練している。また、回覧板を持っていったり、運営推進会議に参加していただき、近隣の方とも顔なじみになるよう働きかけている。		現状通り取り組んで行きたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族が面会に来た時に昼夜の状態を話し、起こりうるリスクについても話をしている。リスクに対する対応については、家族にも相談し、入居者自身に圧迫感のない生活をしていただいている。		現状通り取り組んで行きたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異変など毎日の日誌に記録し、情報を共有し対応している。		現状通り取り組んで行きたい。
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録に内服薬について記載されており、理解している。状態の変化、処方など変わった場合、申し送り、又連絡ノートに記載し、スタッフに伝わるようにしている。朝の申し送り、夜勤入りの時説明を受ける。		全ての薬については理解できていない物や記録を見ないと答えられないものもあるので、理解に努めていく。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取の声かけや体操、食事内容など工夫し、排便をチェックし必要に応じて下剤を使用している。		現状通り取り組んで行きたい。
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりに応じた口腔ケアを行なっているが、毎食後ではない。		毎食後行なうように努める。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎日把握し、支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防のマニュアルを作り実行している。		現状通り取り組んでいきたい。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所や食材について衛生管理行い、旬な素材で新鮮なものを使用している。		現状通り取り組んでいきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲に植木や花などで明るく親しみやすいようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感のある空間作りに努め利用者の制作した貼り絵などで季節感など出したりしている。		現状通り取り組んでいきたい。
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	狭い中にもソファーなどで少しでも距離を置くことができる場所作りをしている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れたものを居室にて使用して頂き、居心地良い、空間となるように工夫している。		現状通り取り組んでいきたい。
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気、温度調節は季節に合わせてまた本人の体調なども考慮し行なっている。		現状通り取り組んでいきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要と思われる場所に手摺りをつけ、危険と思われる所は物の配置に気を配り安全に努めている。		現状通り取り組んでいきたい。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自力歩行だが不安定な方には、居室内に手摺りがわりに、椅子を配置するなど工夫している。		現状通り取り組んでいきたい。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の玄関周りのわずかな空間と利用し草花などの植え替えなどの植え替えなど行なっている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借 ユニット

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

グループホーム馬借 ユニット

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き生きと働いている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

季節ごとの行事やレクリエーションなどの活動を通し、入居者同士、また職員と共に楽しさ喜びなど共有し家庭的な場所となるよう努めている。